

平成**31**年度

京都教育大学
教育学部推薦入試

学生募集要項



I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

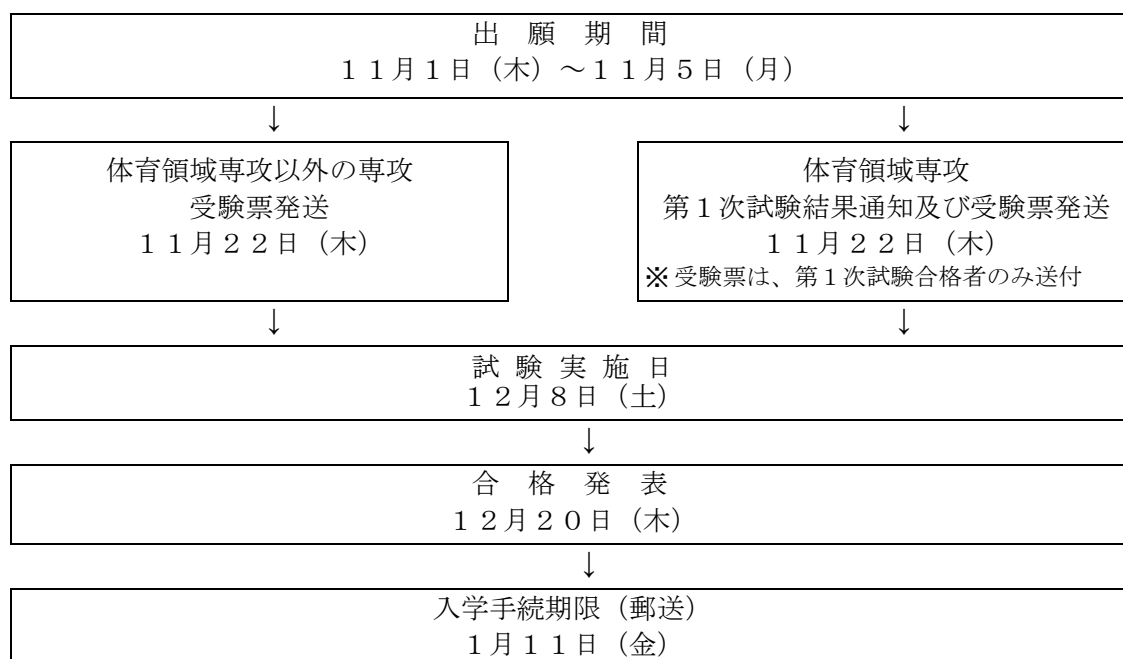
目 次

平成31年度 教育学部推薦入試 学生募集要項	ページ
1. 募集人員	1
2. 出願資格及び要件	2
3. 出願手続	4
4. 障がい等のある入学志願者の事前相談	5
5. 受験票等の発送	5
6. 選抜試験	5
7. 合格発表	10
8. 入学手続等	10
9. 入学前の学習課題	10
10. 推薦入試に係る留意事項	10
11. 入試情報の開示請求	11
12. その他の注意事項	11
入学志願書記入上の注意	12
教員志望動機書記入上の注意	13
平成30年度京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況	17
平成31年度京都教育大学推薦入試出願資格照会書(用紙)	22

【別添書類等】

- ① 入学志願書
- ② 推薦書
- ③ 受験票・写真票
- ④ 払込取扱票(検定料払込用紙)
- ⑤ 受験票送付用封筒
- ⑥ あて名票
- ⑦ 教員志望動機書
- ⑧ 体育・スポーツ業績調書
- ⑨ 美術・工芸作品証明書
- ⑩ 出願用封筒

*** 平成31年度 京都教育大学教育学部推薦入試日程の概要 ***



平成31年度 京都教育大学教育学部 推薦入試 学生募集要項

高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「高等学校等」という。）を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者で、特に本学への入学を希望し、学業成績、人物が共に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して推薦入試を実施する。

1. 募集人員

教育学部

学校教育教員養成課程 入学定員300名のうち、推薦入試募集人員84名
募集人員の内訳は次のとおりである。

募集区分	入学定員	募集人員内訳			
		前期日程	後期日程	推薦入試	地域指定推薦入試 (※2)
教育学専攻	300	16	—	6	20
幼児教育専攻		9	—	4	
発達障害教育専攻		10	—	4	
国語領域専攻		11	4	4	
社会領域専攻		18	—	12	
英語領域専攻		16	4	5	
数学領域専攻		15	7	7	
理科領域専攻		21	7	13	
技術領域専攻		8	—	5 (※1)	
家庭領域専攻		11	—	5	
美術領域専攻 (美術分野)		9	—	4	
(書道分野)		3	—	—	
音楽領域専攻		7	—	5	
体育領域専攻		15	5	10	
合計	300	169	27	84	20

※1 技術領域専攻の募集人員については、A入試（3名）とB入試（2名）の区分がある。
詳細は、2. の(2)「出願資格及び要件」（3ページ）を参照のこと。

※2 地域指定推薦入試は、京都府内の高等学校等を対象とした推薦入試である。

2. 出願資格及び要件

次の（１）の出願資格及び要件を全て満たし、かつ（２）にある募集区分毎の出願資格及び要件を全て満たしていること。

- （１）①高等学校等を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
 ②出身学校長が責任をもって推薦できる者
 ③合格した場合、入学することを確約できる者
- （２）各募集区分の出願資格及び要件は、次のとおりである。

募集区分	出願資格及び要件
教育学専攻	1. 教育学及び心理学に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
幼児教育専攻	1. 幼児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 幼稚園教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
発達障害教育専攻	1. 障害児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 特別支援学校教員 もしくは 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
国語領域専攻	1. 国語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.2 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
社会領域専攻	1. 社会科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
英語領域専攻	1. 英語に強い関心を持ち、将来、 小学校教員 もしくは 中学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.2 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
数学領域専攻	1. 数学（算数）に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
理科領域専攻	1. 理科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。

募集区分	出願資格及び要件
技術領域専攻	<p>1. 次のいずれかに該当する者</p> <p>A入試：工業・農業などの産業分野の教育及び研究に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、中学校教員等になろうとする者</p> <p>B入試：もの作りや情報の活用などに強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 出願できる高等学校等</p> <p>A入試（3名）</p> <p>対象となるのは以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高等学校に在籍する者 ・農業高等学校に在籍する者 ・高等学校において、専門教育に関する教科「工業」及び「農業」に含まれる科目の単位を25単位以上履修した者 <p>B入試（2名）</p> <p>対象となるのは上記A入試の対象外の高等学校等(普通科を含む。)に在籍する者</p> <p>3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値がA入試は4.2以上、B入試は4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
家庭領域専攻	<p>1. 家庭科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
美術領域専攻	<p>1. 子どもの造形教育ならびに美術・工芸に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 芸術的表現に関して、個人やクラブ活動などで意欲的な活動が認められる者</p> <p>3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。</p>
音楽領域専攻	<p>1. 音楽に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
体育領域専攻	<p>1. 体育・スポーツ分野(保健を含む。)に強い関心を持ち、将来、学校教員になろうとする者</p> <p>2. 学校体育で取り扱われている内容、及び本学の教育課程に対応する以下の運動種目において、優れた運動能力を有する者(全国規模の大会^(注1)への出場経験を有する者、又はブロック大会^(注2)にて、ベスト8、もしくは8位以上の競技成績を有する者)</p> <p>出願可能運動種目：</p> <p>器械体操、陸上競技、競泳、球技【ゴール型(バスケットボール、ハンドボール、サッカー)：ネット型(バレーボール、テニス[ソフトテニスを含む。])：ベースボール型(ソフトボール、野球)】、武道(柔道、剣道)、野外活動(スキー)</p> <p>3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(注1) 全国規模の大会とは、インターハイ、国体及びそれらと同等以上の大会をいう。</p> <p>(注2) ブロック大会とは、都道府県大会の上位チームもしくは上位の成績を得た個人が、近畿大会など、複数の都道府県からの代表チーム又は個人として競う大会をいう。</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。</p> <p>*2. に関する問い合わせは11ページを参照すること。</p>

3. 出願手続

入学志願者は出願書類等を一括し、本学所定の出願用封筒に入れ郵送すること。

(1) 出願期間

平成30年11月1日(木)から11月5日(月)

出願期間後に到着した場合でも、11月5日(月)以前の発信局消印のある書留速達に限り有効とする。

(2) 提出先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
京都教育大学 教務・入試課 入試グループ

(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 書	12ページに記載の入学志願書記入上の注意をよく読んで記入すること。
② 推 薦 書	出身学校長が作成し厳封したもの。
③ 調 査 書	出身学校長が作成し厳封したもの。
④ 受験票・写真票	無帽、上半身、大きさ(4cm×3cm)で出願前3ヵ月以内に撮影した写真を受験票・写真票の所定欄に貼付して提出すること。
⑤ 検 定 料	17,000円 本学所定の払込用紙を使用し、最寄りの郵便局の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書」を入学志願書の所定欄に貼付すること。(払込手数料は出願者負担) ※既納の検定料は、返還しない。 ただし、次に該当する場合は、該当者の申し出により当該検定料(17,000円)を返還する。 ・出願書類を提出しなかった場合 ・出願書類が不備等により受理されなかった場合 また、体育領域専攻の第1次試験不合格者に対しては、申し出により13,000円を返還する。
⑥ 受験票送付用封筒	封筒に志願者のあて先を明記し、 返信用切手(372円分) を貼付すること。
⑦ あ て 名 票	
⑧ 教員志望動機書	13～16ページに記載の教員志望動機書記入上の注意をよく読んで、それぞれの項目に対して、対応する番号を付して記入すること。
⑨ 体育・スポーツ 業 績 調 書	出身学校長が作成し厳封したもの。 (体育領域専攻の志願者のみ提出)
⑩ 美術・工芸作品 証 明 書	作品の写真(キャビネ版(12.0cm×16.5cm)とし、2点以内、各作品の制作年月日と寸法を明記し出身学校長及び指導教諭(担任可)の証明書を添付すること。)作品は、試験当日に受験者本人が持参できるものに限る。 (美術領域専攻の志願者のみ提出)
⑪ ピアノ伴奏者用 楽 譜	裏面に、高等学校等名・氏名を記入しておくこと。 (音楽領域専攻の「声楽」選択者のみ提出)

(注) 出願に際しての注意事項

- ③調査書及び⑪ピアノ伴奏者用楽譜以外は、全て本学所定用紙により作成すること。
- 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。
- 提出後の出願書類等の変更及び記入内容の変更は認めない。
- 提出後の出願書類等は返還しない。

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち必ず以下のとおり相談すること。

(1) 相談の時期

平成30年9月28日(金)までに本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月29日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので申し出ること。

(2) 相談の方法

学長あてに次の事項を記載した書類(様式任意)に医師の診断書を添付し提出すること。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁することができる出身学校関係者等との面談等を行う。

- ①志望する募集区分名
- ②障がいの種類・程度
- ③受験上の配慮を希望する事項
- ④修学上の配慮を希望する事項
- ⑤日常生活の状況

5. 受験票等の発送

受験票、受験に際しての注意事項及び体育領域専攻第1次試験結果通知は、平成30年11月22日(木)に発送する。

ただし、体育領域専攻志願者の受験票は、第1次試験合格者のみ送付する。

6. 選抜試験

(1) 選抜試験実施日 **平成30年12月8日(土)**
(体育領域専攻の第2次試験も、同日に実施する。)

(2) 選抜試験実施場所 京都教育大学 京都市伏見区深草藤森町1番地

(3) 募集区分ごとの選抜方法等

教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻(A入試、B入試)、家庭領域専攻

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

選抜の実施科目等及び時間

科目等	時間
小論文	9:30～11:00
面接	12:30～17:00

美術領域専攻

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文、面接及び美術・工芸作品による選抜を行う。

当日は、出願時に提出した写真の作品を持参すること。

選抜の実施科目等及び時間

科目等	時間
小論文	9:30～11:00
面接	12:30～17:00

音楽領域専攻

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、実技検査等及び面接による選抜を行う。

選抜の実施科目等及び時間

科目等	時間
実技検査等	9:30～11:30
面接	12:30～17:00

体育領域専攻

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、体育・スポーツ業績調書、小論文、面接による選抜を行う。

第1次試験

体育・スポーツ業績調書により選抜する。

第1次試験の選抜結果は、11月22日付けの文書をもって通知する。

第2次試験 平成30年12月8日(土)

第1次試験の合格者に対し小論文及び面接を課し、第1次試験の成績と総合して選抜を行う。

選抜の実施科目等及び時間

科目等	時間
小論文	9:30～11:00
面接	12:30～17:00

※各募集区分の面接、実技検査等の終了時刻については、受験者数により変更する場合がある。

(4) 選抜試験の内容等

小論文

募集区分	検査内容及びその評価基準
教育学専攻	子どもの教育や発達に関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、理解力、表現力、関心・意欲等を総合的に評価する。
幼児教育専攻	幼児の教育や発達に関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、理解力、表現力、関心・意欲等を総合的に評価する。
発達障害教育専攻	障害児の教育や発達に関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、理解力、表現力、関心・意欲等を総合的に評価する。
国語領域専攻	言葉、文化、教育などに関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、基礎的教養、理解力、思考力、表現力等を総合的に評価する。一部に読解力、漢字などの基礎的学力を問う設問を含む。
社会領域専攻	人文科学、社会科学に関する文献や資料を提示し、その内容について論述させ、基礎的教養、思考力、表現力等を総合的に評価する。
英語領域専攻	言語、文化、現代社会などに関する英語で書かれた文献を提示し、その内容について日本語で論述させ、基礎的教養、思考力、表現力等を総合的に評価する。あわせて、教育に対する意欲や関心についても見る。
数学領域専攻	数学（算数）、教育などに関連する資料や文章を提示し、それに関連した論述をさせ、論証力、説明能力、思考力、表現力、基礎的教養等を総合的に評価する。なお、読解力、説明能力、とくに算数・数学に関する事柄に対する説明能力などの基礎的学力を問う設問を含む場合がある。
理科領域専攻	自然科学や、理科の教育に関する事柄について論述させる。教育に対する関心・意欲、基礎的教養、思考力、表現力等を見るとともに、理科の専門性を有する小学校教員としての資質を、総合的に評価する。
技術領域専攻 (A入試、B入試)	現代社会を支えている技術に関する課題について論述させ、基礎的教養、理解力、論理的思考力、創造的思考力、表現力等を総合的に評価する。
家庭領域専攻	生活のあり方やそれに関わる教育的課題に関する内容を論述させ、基礎的教養、思考力、表現力等を総合的に評価する。
美術領域専攻	美術教育に関する課題について、提示された文献や資料を手掛かりに論述させ、教育実践に関する理解や関心及び教職への意欲を見るとともに、子どもの感性や創造力を育成する図画工作の教員としての資質を、総合的に評価する。
体育領域専攻	保健体育に関する文献・資料または課題を提示し、その内容について論述させ、基礎的知識、思考力、表現力等を総合的に評価する。なお、一部に保健体育に関する基礎的学力を問う内容を含む。

面接

募集区分	検査内容及びその評価基準
教育学専攻	志望動機、教育学及び心理学に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
幼児教育専攻	志望動機、幼児教育に対する関心、これまでの学校教育等で学んだ内容等について問い、幼稚園教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、集団面接とする。
発達障害教育専攻	志望動機、これまでの学校生活・学習、障害児教育に対する関心等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
国語領域専攻	志望動機、国語に対する関心、これまで学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。
社会領域専攻	志望動機、社会科に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、集団面接とする。
英語領域専攻	志望動機、英語に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
数学領域専攻	志望動機、数学（算数）に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、学力、思考力、説明能力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
理科領域専攻	志望動機、理科に関する内容とそれに対する興味・関心、探究活動の経験等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
技術領域専攻	<p>(A入試)</p> <p>志望動機、工業・農業などの産業分野に対する関心、これまでに学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接^(注)とする。</p> <p>(B入試)</p> <p>志望動機、もの作りや情報の活用などに対する関心、これまでに学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接^(注)とする。</p>
家庭領域専攻	志望動機、家庭科に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
美術領域専攻	志望動機、美術に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として集団面接 ^(注) とする。

募集区分	検査内容及びその評価基準
音楽領域専攻	志望動機、音楽に対する関心、小学校・中学校・高等学校等で学んだ内容等について問い、小学校教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、原則として個人面接 ^(注) とする。
体育領域専攻	志望動機、保健体育に対する関心、学校教育や体育・スポーツ活動を通じて学んだ内容等について問い、教員になろうとする意欲、資質、思考力、表現力等を総合的に評価する。面接形態は、個人面接とする。 なお、面接には第1次試験合格者に対して事前に提示する課題についてのプレゼンテーションを含む。(電子機器の使用は不可)

(注) 志願者数により、個人面接を集団面接に、集団面接を個人面接に変更することがある。

実技検査等

募集区分	検査内容及びその評価基準
音楽領域専攻	次の1～3のうちから1つを選択して受験すること。 1. 器楽 (1) 出願書類の選択種目欄の「器楽」を選択し、楽器名を記入のこと。 (2) 演奏は自由曲1曲とし、暗譜の上、繰り返しは省略すること。 (3) ピアノ以外の楽器は、各自持参を原則とする。 2. 声楽 (1) 出願書類の選択種目欄の「声楽」を選択するとともに、出願時に任意の1曲のピアノ伴奏者用楽譜を提出すること。 (2) 伴奏者は、本学で準備する。 3. 小論文 (1) 出願書類の選択種目欄の「小論文」を選択すること。 (2) 音楽に関する与えられたテーマについて論述する。 (3) 試験時間は、90分とする。 器楽・声楽の実技については、基本的な演奏技術、音楽性、表現力を評価する。 小論文については、音楽及び音楽教育に関する基礎的知識、論理的思考力、文章による表現力を総合的に評価する。

(5) 配点

募集区分	書類等選考 (美術・工芸作品を含む)	小論文	実技検査等	面接	合計
教育学専攻、幼児教育専攻、 発達障害教育専攻、国語領域専攻、 社会領域専攻、英語領域専攻、 数学領域専攻、理科領域専攻、 技術領域専攻、家庭領域専攻	———	100	———	100	200
美術領域専攻	100	100	———	100	300
音楽領域専攻	———	———	100	100	200
体育領域専攻	100	100	———	100	300

7. 合格発表

平成30年12月20日（木）午前10時

合格者の受験番号を本学において掲示するとともに、本学のホームページにも掲載する。

本学ホームページトップ → 入試情報 → 合格発表

合格者には、合格通知書を発送する。

また、選考の結果について、本人及び出身学校長あてに文書をもって通知する。

なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

8. 入学手続等

入学手続は、下記により行うこと。

なお、詳細については、合格者に別途通知する。

(1) 入学手続の日時・方法

平成31年1月11日（金）までに必着とし、郵送により行うこと。

(2) 入学料・授業料等

ア. 入学料 282,000円

イ. 授業料（年額） 535,800円

（注）①上記の入学料及び授業料は、平成30年度入学者の金額であり、平成31年度入学者については、変更する場合がある。

②在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用される。

ウ. その他

学生教育研究災害傷害保険料等 約60,000円

(3) 入学の辞退

特別の事情により入学を辞退する場合は、出身学校長から入学辞退願（様式任意）を平成31年1月31日（木）までに学長あてに提出し、許可を得た場合に限り入学辞退を認める。

9. 入学前の学習課題

合格者には、入学までに取り組むべき課題として、レポート等の課題を課す。詳細は、合格通知書とともに通知する。

10. 推薦入試に係る留意事項

(1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。

(2) 出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

なお、本学の一般入試を受験する場合は、大学入試センター試験を受験のうえ、平成30年10月下旬に公表する本学の学生募集要項により出願手続を行うこと。

(3) 選抜試験の結果によっては、合格者が募集人員に満たない場合がある。

(4) 合格者は本学で定めた入学手続期間中に所定の手続きを行うものとする。この場合、本要項の「8. 入学手続等」の「(3) 入学の辞退」により入学の辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学・学部の入学許可は得られない。

(5) 合格者が本学で定めた入学手続期間中に所定の手続きを完了しない場合は、入学を辞退した者として取扱うが、合格者は所定の期間内に入学又は入学辞退の手続きを必ず行うこと。

(6) 所定の期間内に入学手続を完了した者であっても、平成31年3月31日までに高等学校等を卒業できない場合は入学は許可されない。

1 1. 入試情報の開示請求

- (1) 開示内容
 - ・個人成績
書類等選考（美術・工芸作品を含む。）、小論文、実技検査等、面接の得点
- (2) 開示手続
 - ①開示の対象者
受験者本人に限る（代理人は不可）
 - ②開示期間等
平成31年5月1日（水）～平成31年5月31日（金）
（土・日曜日、祝日を除く、9時から12時30分、13時30分から17時）
 - ③申請方法
教務・入試課入試グループ窓口において、所定の「成績開示申請書」に必要事項を記入し、受験票を添えて提出すること。
 - ④開示方法
教務・入試課入試グループ窓口で「成績開示表」を交付する。

1 2. その他の注意事項

- (1) 受験のための宿泊施設の斡旋は行わない。
- (2) 過去1年間の入試問題は教務・入試課入試グループで閲覧することができる。
- (3) 入学者選抜試験に関する問い合わせは、原則として出願を希望する本人が教務・入試課入試グループに行くこと。郵便により行う場合はあて先を明記し、82円分の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。
- (4) 体育領域専攻の「出願資格及び要件」（3ページ）の2.に関する問い合わせは、原則として出願を希望する本人が巻末の「出願資格照会書」を用いて行うこと。
***問い合わせは任意である。**
問い合わせをする場合は、平成30年10月1日（月）までに必着とし、教務・入試課入試グループに郵送（82円分の切手を貼った返信用封筒を同封）により行うこと。
結果についての通知を、平成30年10月9日（火）までに文書で発送する。

[問い合わせ先]

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 教務・入試課 入試グループ

TEL 075-644-8161

（土・日曜日、祝日を除く、9時から12時30分、13時30分から17時）

FAX 075-642-5466

入学者選抜試験に関する個人情報の取扱いについて

本学が実施する入学者選抜試験において取得した個人情報については、次のとおり取扱います。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人京都教育大学個人情報保護規程」に基づき取扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①出願処理、②入学者選抜試験の実施、③合格発表、④入学手続業務、⑤入学者選抜方法改善のための調査・研究及びこれらに付随する業務の実施のために利用します。
3. 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センター試験の受験番号、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。
4. 出願書類等に記載された個人情報及び入学者選抜試験の成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（奨学金、授業料免除、健康管理等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
5. 入学後の学生生活支援のため京都教育大学生生活協同組合から申し出があった場合は、利用目的を限定した上で合格者の出願書類等に記載された個人情報のうち氏名及び住所を提供する場合があります。

入学志願書記入上の注意

1. 記入は、黒のボールペンを使用して、かい書で丁寧に記入すること。
2. 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正するとともに押印すること。
3. ※印の欄は記入しないこと。

①志望する募集区分、②募集区分コード

志望する募集区分及びコードを下表に記載されているとおり記入すること。
技術領域専攻の志願者は、（A入試）又は（B入試）の別を必ず記入すること。

募 集 区 分	コード	募 集 区 分	コード
教育学専攻	0 1 0	理科領域専攻	0 8 0
幼児教育専攻	0 2 0	技術領域専攻（A入試）	0 9 0
発達障害教育専攻	0 3 0	技術領域専攻（B入試）	0 9 5
国語領域専攻	0 4 0	家庭領域専攻	1 0 0
社会領域専攻	0 5 0	美術領域専攻	1 1 0
英語領域専攻	0 6 0	音楽領域専攻	1 2 0
数学領域専攻	0 7 0	体育領域専攻	1 3 0

③志願者

氏名、生年月日及び性別は、戸籍の記載どおりに記入すること。通称名を使用している場合は、両方を記入して通称名に（ ）を付けること。

電話番号は必ず記入し、呼び出しの場合は「〇〇方」と明記すること。

④連絡先

「③志願者」で記入した以外に連絡が取れる連絡先がある場合は記入すること。

⑤出身高等学校等

設置区分は、該当する事項を○で囲み、高等学校等名、高等学校等コードを記入すること。高等学校等コードは、大学入試センター試験受験案内に掲載されている「高等学校等コード」を記入すること。（大学入試センター試験受験案内がない場合は11ページの「問い合わせ先」へ照会すること。）

課程、学科は、該当する事項を○で囲むこと。該当する学科が1～6にない場合は、7を○で囲み、学科名を記入すること。

⑥音楽領域専攻の志願者のみ記入

実技検査等において受験する種目を選択し該当する事項を○で囲むこと。

また、器楽を選択した者については使用する楽器名も記入すること。

⑦「振替払込受付証明書」貼付欄

検定料を郵便局の窓口で払い込み、振替払込受付証明書（払込用紙の右端の用紙）を糊付けすること。

教員志望動機書記入上の注意

- I. 黒のボールペンを使用して、できるだけ具体的に本人が記入すること。
- II. 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正するとともに押印すること。
- III. 面接の際には、ここに書かれたことについて質問することがある。
- IV. 志願者氏名、志望する募集区分、高等学校等名は入学志願書に記載したとおりに記入すること。
- V. 記入内容は、募集区分ごとの記入事項に従い、それぞれの項目に対して、対応する番号を付して記入すること。
- VI. 添付書類は、A 4またはA 3サイズで提出すること。

[募集区分ごとの記入事項]

教育学専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 教育学専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、教育学専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

幼児教育専攻

1. 幼稚園教員になろうとする理由。
2. どのような幼稚園教員になりたいと思っているか。
3. 幼児教育専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、幼児教育専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

発達障害教育専攻

1. 特別支援学校教員もしくは小学校教員になろうとする理由。
2. どのような特別支援学校教員もしくは小学校教員になりたいと思っているか。
3. 発達障害教育専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、発達障害教育専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

国語領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 国語領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、国語領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

社会領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 社会領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、社会領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

英語領域専攻

1. 小学校教員もしくは中学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員もしくは中学校教員になりたいと思っているか。
3. 英語領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、英語領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. これまで英語の勉強にどのように取り組んできたか。
6. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

数学領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 数学領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、数学領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. これまで数学(算数)の勉強にどのように取り組んできたか。何か特徴のある勉強の仕方をした場合は、その内容についても記入すること。また、これらの内容に関連する特別な活動の記録[研究発表、受賞など]があれば、それについても記入すること。
6. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

理科領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 理科領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、理科領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. これまで理科の勉強にどのように取り組んできたか。何か特徴のある勉強の仕方をした場合は、その内容についても記入すること。また、これらの内容に関連する特別な活動の記録〔研究発表、受賞など〕があれば、それについても記入すること。
6. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

技術領域専攻（A入試）

1. 教員になろうとする理由。
2. どのような教員になりたいと思っているか。
3. 技術領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、技術領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(工業・農業など専門分野におけるコンテスト・コンクールや、弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

技術領域専攻（B入試）

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 技術領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、技術領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

家庭領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 家庭領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、家庭領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。
例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

美術領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 美術領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、美術領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、小学校での図画工作科の学習、課外活動関係(展覧会、文化活動、ワークショップ、ボランティア活動等への参加)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、児童・幼児との交流体験、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

音楽領域専攻

1. 小学校教員になろうとする理由。
2. どのような小学校教員になりたいと思っているか。
3. 音楽領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、音楽領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。

例： 学業関係、課外活動関係(演奏会・コンクールへの出演・出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

6. 実技検査等の受験種目。
 - a. 選択種目(器楽・声楽・小論文)の何を選択するかを記入すること。
 - b. 器楽の場合、楽器名を記入すること。

体育領域専攻

1. 教員になろうとする理由。
2. どのような教員になりたいと思っているか。
3. 体育領域専攻を志望する理由。
4. 「上記2」を実現するために、体育領域専攻でどのような勉強をしたいか。また、それ以外に大学でどのようなことを学びたいか。
5. 自分について知ってもらいたいこと。(体育・スポーツ業績調書の内容を含めないこと。)

例： 学業関係、課外活動関係(弁論大会への出場、ボランティア活動等を含む。)、検定試験等の取得資格(証明できる書類がある場合はそのコピーを添付すること。)、趣味・特技等、その他自己をアピールできること。

平成30年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況

一般入試

募集区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	教育学専攻	15	34	31	18	1.7	17
	幼児教育専攻	9	32	32	10	3.2	10
	発達障害教育専攻	10	21	21	12	1.8	11
	国語領域専攻	10	22	21	13	1.6	13
	社会領域専攻	19	43	42	21	2.0	21
	英語領域専攻	16	26	25	16	1.6	15
	数学領域専攻	14	29	29	16	1.8	16
	理科領域専攻	20	45	43	22	2.0	21
	技術領域専攻	8	39	36	8	4.5	8
	家庭領域専攻	11	29	27	11	2.5	11
	美術領域専攻(美術分野)	10	20	19	11	1.7	11
	美術領域専攻(書道分野)	3	25	22	4	5.5	4
	音楽領域専攻	7	11	10	7	1.4	7
	体育領域専攻	15	32	29	15	1.9	15
	前期日程合計	167	408	387	184	2.1	180
後期日程	国語領域専攻	4	23	11	5	2.2	5
	英語領域専攻	4	18	8	4	2.0	4
	数学領域専攻	7	17	8	6	1.3	6
	理科領域専攻	7	21	11	7	1.6	6
	体育領域専攻	6	70	27	7	3.9	6
	後期日程合計	28	149	65	29	2.2	27
一般入試合計	195	557	452	213	2.1	207	

- 注 1. 受験者には、他の国公立大学入学手続完了者を含まない。
2. 倍率は、受験者／合格者で表示。

推薦入試

募集区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻		5	34	30	6	5.0	6
幼児教育専攻		4	21	19	6	3.2	6
発達障害教育専攻		4	18	18	7	2.6	7
国語領域専攻		4	21	20	4	5.0	4
社会領域専攻		12	41	37	15	2.5	15
英語領域専攻		5	14	14	5	2.8	5
数学領域専攻		7	25	24	9	2.7	9
理科領域専攻		12	24	22	14	1.6	14
技術領域専攻(A入試)		3	13	13	5	2.6	5
技術領域専攻(B入試)		2	2	2	1	2.0	1
家庭領域専攻		5	7	6	3	2.0	3
美術領域専攻(美術分野)		7	11	11	7	1.6	7
音楽領域専攻		5	26	26	6	4.3	6
体育領域専攻		10	20	14	11	1.3	11
合計		85	277	256	99	2.6	99

- 注 1. 受験者には、地域指定推薦入試合格者を含まない。
2. 体育領域専攻の第1次試験合格者は15名。
3. 倍率は、受験者／合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件A(京都府北部地域)

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	3	3	1	1.8	1
幼児教育専攻		0	0	0		0
発達障害教育専攻		0	0	0		0
国語領域専攻		0	0	0		0
社会領域専攻		3	3	3		3
英語領域専攻		3	3	2		2
数学領域専攻		2	2	1		1
理科領域専攻		0	0	0		0
技術領域専攻		0	0	0		0
家庭領域専攻		1	1	1		1
美術領域専攻(美術分野)		0	0	0		0
美術領域専攻(書道分野)		1	1	0		0
音楽領域専攻		1	1	0		0
体育領域専攻		4	4	2		2
合計			18	18		10

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件B(京都府内[出願要件Aの京都府北部地域を除く])

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	10	10	3	3.6	3
幼児教育専攻		3	3	2		2
発達障害教育専攻		1	1	0		0
国語領域専攻		4	4	1		1
社会領域専攻		3	3	1		1
英語領域専攻		1	1	0		0
数学領域専攻		2	2	0		0
理科領域専攻		3	3	2		2
技術領域専攻		1	1	0		0
家庭領域専攻		2	2	1		1
美術領域専攻(美術分野)		1	1	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		3	3	0		0
体育領域専攻		2	2	0		0
合計			36	36		10

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

教育学部計

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	167	408	387	184	2.1	180
後期日程	28	149	65	29	2.2	27
一般入試計	195	557	452	213	2.1	207
推薦入試	85	277	262	99	2.6	99
地域指定推薦入試	20	54	54	20	2.7	20
合計	300	888	768	332	2.3	326

過去の入学者選抜実施状況

年度	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
平成26年度	300	1,114	873	334	2.6	324
平成27年度	300	959	763	337	2.3	316
平成28年度	300	928	757	339	2.2	329
平成29年度	300	904	770	334	2.3	324

平成30年度 京都教育大学教育学部 入学者選抜試験(一般入試)

合格者の平均点・最高点・最低点

募集区分	募集人員	合格者	大学入試センター試験			個別学力検査等			総合得点						
			配点	平均点	最高点	最低点	配点	平均点	最高点	最低点	配点合計	平均点	最高点	最低点	
前期日程	教育学専攻	15	18	900	645.4	724	607	400	238.2	276	211	1300	883.6	985	831
	幼児教育専攻	9	10	900	649.8	708	612	400	225.4	284	194	1300	875.2	960	806
	発達障害教育専攻	10	12	900	603.3	674	558	400	220.2	263	164	1300	823.4	937	784
	国語領域専攻	10	13	900	662.2	735	553	400	243.4	288	203	1300	905.6	1012	807
	社会領域専攻	19	21	900	650.8	714	593	400	266.8	313	216	1300	917.6	997	861
	英語領域専攻	16	16	900	602.9	684	502	400	219.4	254	177	1300	822.3	928	716
	数学領域専攻	14	16	900	661.7	707	621	400	205.6	264	148	1300	867.3	947	826
	理科領域専攻	20	22	900	625.8	766	528	400	209.8	305	144	1300	835.6	987	769
	技術領域専攻	8	8	900	599.3	***	***	400	179.5	***	***	1300	778.8	821	741
	家庭領域専攻	11	11	900	587.6	608	556	400	251.5	306	214	1300	839.1	904	799
	美術領域専攻(美術分野)	10	11	700	437.6	515	347	600	431.2	537	327	1300	868.8	1019	801
	美術領域専攻(書道分野)	3	4	700	400.5	***	***	600	502.5	***	***	1300	903.0	***	***
	音楽領域専攻	7	7	800	538.4	***	***	400	318.6	***	***	1200	857.0	914	807
	体育領域専攻	15	15	800	555.8	696	507	500	328.9	367	295	1300	884.7	997	830
後期日程	国語領域専攻	4	5	900	582.2	***	***	600	466.8	***	***	1500	1049.0	1122	968
	英語領域専攻	4	4	900	580.8	***	***	400	325.5	***	***	1300	906.3	***	***
	数学領域専攻	7	6	900	628.2	***	***	300	209.2	***	***	1200	837.3	927	716
	理科領域専攻	7	7	900	606.0	***	***	400	254.1	***	***	1300	860.1	1014	733
	体育領域専攻	6	7	800	565.4	***	***	500	330.9	***	***	1300	896.3	963	861

注 当該募集区分の合格者が10名未満の区分については、大学入試センター試験と個別学力検査等の最高点・最低点は公表しない。
 当該募集区分の合格者が5名未満の区分については、大学入試センター試験、個別学力検査等及び総合得点の最高点・最低点は公表しない。
 なお、当該募集区分の合格者が1名の区分については、すべて公表しない。

平成30年度京都教育大学教育学部
志願者・入学者出身高等学校都道府県別調べ

	都道府県名等	志願者	入学者
1	北海道	0	0
2	青森県	1	1
3	岩手県	0	0
4	宮城県	0	0
5	秋田県	2	0
6	山形県	1	1
7	福島県	1	1
8	茨城県	0	0
9	栃木県	0	0
10	群馬県	2	1
11	埼玉県	3	0
12	千葉県	0	0
13	東京都	4	1
14	神奈川県	3	0
15	新潟県	0	0
16	富山県	2	0
17	石川県	8	1
18	福井県	23	9
19	山梨県	0	0
20	長野県	7	2
21	岐阜県	8	4
22	静岡県	16	7
23	愛知県	19	4
24	三重県	3	1
25	滋賀県	63	21
26	京都府	328	126
27	大阪府	140	43
28	兵庫県	92	33
29	奈良県	17	7
30	和歌山県	16	7
31	鳥取県	14	6
32	島根県	4	3
33	岡山県	22	8
34	広島県	23	6
35	山口県	12	3
36	徳島県	11	2
37	香川県	11	7
38	愛媛県	4	4
39	高知県	2	2
40	福岡県	6	2
41	佐賀県	1	1
42	長崎県	1	0
43	熊本県	4	0
44	大分県	5	4
45	宮崎県	1	1
46	鹿児島県	4	4
47	沖縄県	2	2
48	高卒程度認定試験	1	0
49	在外教育施設	0	0
50	その他	1	1
	計	888	326

	志願者	入学者
全国のうち京都府	36.9%	38.7%

平成30年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の高等学校卒業年調べ

卒業年	志願者	入学者
平成30	785	286
29以前	101	39
その他	2	1
合計	888	326

平成30年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の男女別調べ

性別	志願者	入学者
男	375	139
女	513	187
合計	888	326

平成31年度京都教育大学推薦入試
出願資格照会書
[体育領域専攻]

出願希望者	住 所	〒		
	氏 名		性 別	男 ・ 女
	電話番号	T E L 携帯電話		
高 等 学 校 等 名				
所 在 地		〒		

種 目 名	
出場大会、発表会、 活動等名（出場した 全国規模の大会や ブロック大会の名称）	
大会の主催者名	
大会への出場資格 （予選会での成績等）	
開 催 期 日	
参加者、チーム数	
成 績	
ポジション、役割	

体育領域専攻の出願資格及び要件（3ページ掲載）の2に関する問い合わせは、平成30年10月1日（月）までに必要事項を記入のうえ、郵送（82円分の切手を貼った返信用封筒を同封）により本学教務・入試課入試グループに提出すること（照会は任意）。

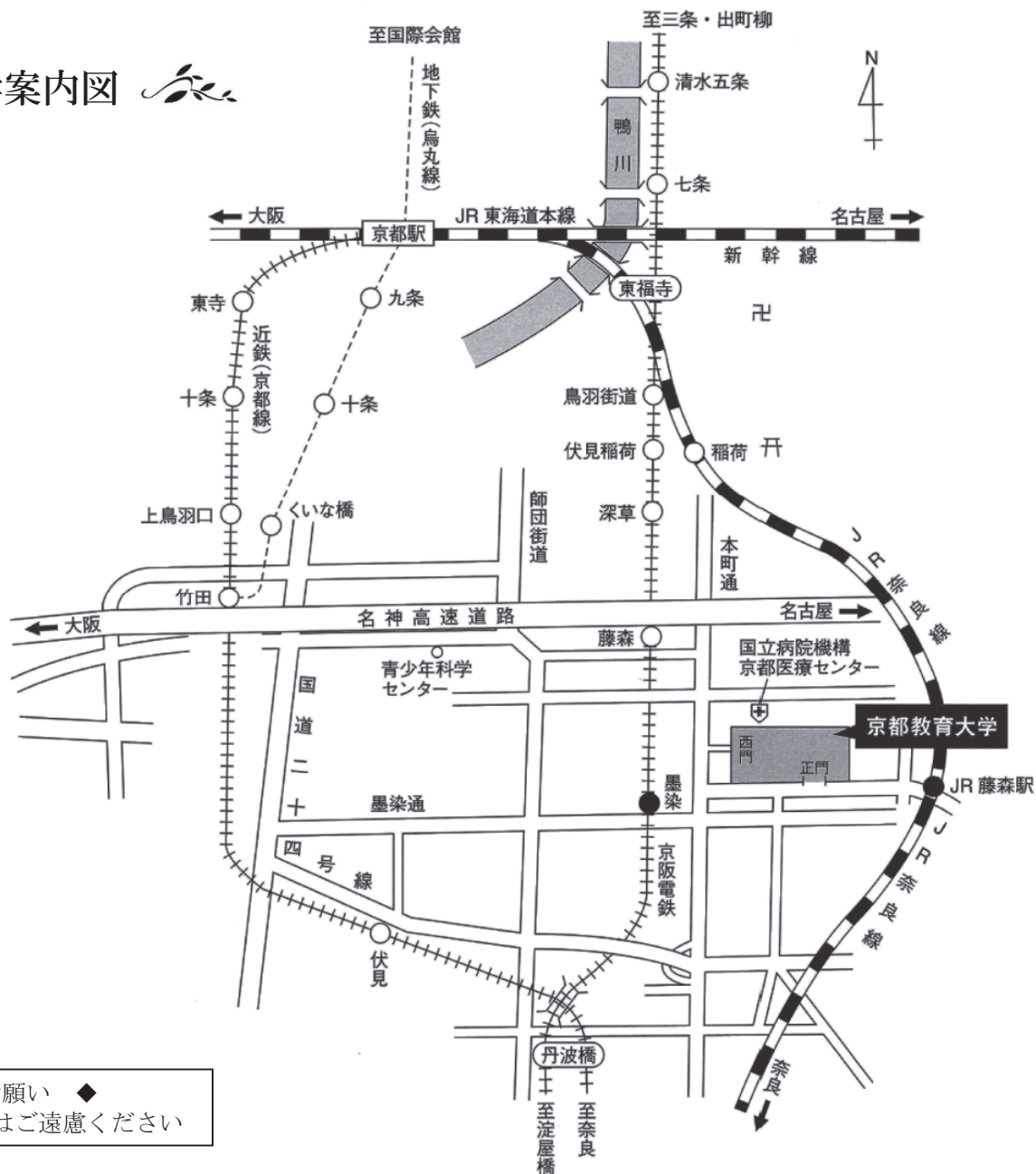
結果についての通知を、平成30年10月9日（火）までに文書で本人あてに発送する。

※ 「12.その他の注意事項」の（4）（11ページ）参照

（記入上の注意）

体育・スポーツ活動に関する具体的な業績（全国規模の大会やブロック大会での成績等）のうち、最も優れたものを記入すること。

大学案内図



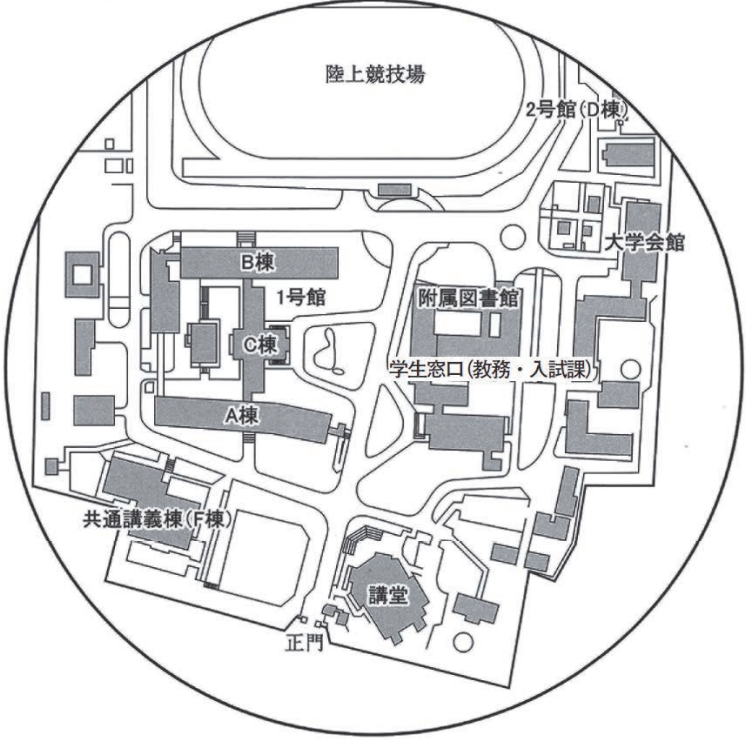
◆ お願い ◆
車でのお越しはご遠慮ください

交通案内

- JR利用者
JR奈良線・JR藤森駅下車 徒歩3分
- 京阪電車利用者
京阪・墨染駅下車 徒歩10分
- 近鉄電車利用者
近鉄・丹波橋駅で京阪電車に乗り換え
墨染駅下車

京都教育大学 教務・入試課入試グループ
《所在地》
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
《電話番号》
075-644-8161

学内図





国立大学法人

京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

教務・入試課入試グループ